

新宮山彦ぐるーぷ第2153回

## 深仙宿から奥駆道三差路迄の笹刈り

◇実施日 11月5日(金) 晴

◇参加者 梶野照雄、植平修 2名

釈迦ヶ岳山頂の釈迦如来像輪光修理の際、植平さんが「こんなものを買いました」と、わざわざ車に積んできて見せてくださった物があった。回転刃の代わりにヘッジトリマーが付いたエンジンの刈払機だった。その後会社の山で雑草を少し刈ってみたようだが、本格的な刈込はまだやっていないようだ。



発電所付近の紅葉



登山口に到着



刈払機

千丈平と深仙宿の間の笹は9月28日に多人数で一気に片付いたが、深仙宿から釈迦ヶ岳山頂までは手つかずのまま残っていた。

先月、植平さんに深仙宿、釈迦ヶ岳間の笹刈りの話をすると、「やりましょう」と快諾を頂き、登山者の少ない平日を狙って実行した。朝8時10分、登山口に着くと植平さんはすでに到着していた。登山口までの時間が正確に読めず、7時過ぎに着いて待っていたという。登山口には全部で11台の車が駐車していた。ヘッジトリマーを付けた刈払機は、全長が2.5m程になり長くて持ち運びが不便なので、先端のトリマーを外してザックに入れる。先端を外すと駆動シャフトが飛び出してくるので、急遽カバーを付けた。重さを計ってみると6.3kgだった。8時20分に登りだし、9時半に古田の森、千丈平10時10分といつもより早いペースで進んだ。



灌頂堂でお勤め



香水水に向かう



流れはあった

深仙宿に到着。植平さんがお堂でお勤めをしている間に香水水を確認に行く。香水水はポタポタではなく、ある程度の流れになってはいるが、貯水槽は一杯ではなく、7割程度しか溜まっていなかった。

た。お堂に戻って奥駈道を登りながら笹刈り作業をする。



笹刈り中



刈込後



都津門付近で

15分ほど登った所から笹刈りを始めた。植平さんのヘッジトリマー付き刈払機は歯の長さが50cmあり、回転刃の3倍くらいの長さを刈り取ることが出来る。そのため刈り進むスピードが速く、熊手で刈り取った笹を登山道外に除けるのが追いつかない。刈残しを充電式のヘッジトリマーで刈り取りながら熊手で除ける、を続けるがエンジンの音が徐々に遠ざかり、上を見ると植平さんは30mも先に進んでいた。お昼を過ぎていたので昼食にしようと声をかけるが、遠いのとエンジン音で通じない。暫くしてエンジン音が小さくなった所で昼食が伝わり、少し広くなった所で腰を下ろして昼食を摂った。

食事を15分で終え、再び笹刈りを続ける。都津門付近は笹を刈った跡があり、奥駈道から都津門に向かう方向も笹が刈られていた。9月29日に浅井證善氏等が作業したものと思われる。



掃除に手間取る



千丈平へ下る



かくし水で

午後2時半を過ぎ、そろそろ終了して下山しなくては、と思っていたらエンジン音が急に大きくなった。燃料が切れかけるときにエンジンの回転数が一時的に高くなるので、エンジン音も大きくなる。2分ほどでエンジンストップ、植平さんが持ってきた燃料2・3リッターを使い切った。奥駈道三差路まではおよそ300m。時刻は午後2時45分だった。刈払機のヘッジトリマー部を外してザックに入れ、千丈平へ向かう。奥駈道三差路までの10分が、異常に長く感じられた。千丈平でかくし水を確認して休憩、登山口までに短い休憩を2回取って、まだ明るいうちに下山することが出来た。

本日の笹刈りは植平さんがほぼ一人で作業され、私は後ろで刈残しの処理と掃除だけを行った。それでも持ってきた電池4個の内3個を使ったので、電池だけでは今日刈った距離の半分もできなかったと思う。本当に有難うございました。

残っている区間は笹が長く、深く掘れているところが続いているので、現在の道の傍に新しく登山道を付け替える必要があるそうだ。

(記；梶野)

## 行動タイム

太尾登山口 08：20→09：30 古田の森→10：08 千丈平→10：32 深仙宿  
10：45→12：38 都津門→15：08 奥駈道三差路→15：15 かくし水  
15：48 古田の森→16：21 不動木屋登山道分岐→16：55 太尾登山口